

第32期 (令和7年6月～令和8年10月)

所沢市民大学

募集案内

新しい出会いと豊かな学び



所沢市民大学は、自ら学ぶ市民の学習の場です！

市民大学の理念

- ・市民参加でつくる
- ・出会いの場、交流の場をつくる
- ・問題を発見し共に考える
- ・地域に学びをひろげる



所沢市民大学は、全体学習（1年次）とグループ学習（2年次）から構成された、約1年半にわたる2年次制の学習講座です。

1年次

午後 1 時 30 分から午後 4 時 30 分

全体学習

大教室において 2 3 講座を受講します。

グループミーティング

講義の後、7つのグループに分かれ、講義の振り返りや意見交換などを行います。

その他の行事 移動学習・課外授業・交流会等もあります。行事の準備のため、不定期で会議を行います。

1日の流れ

13:00 受付開始

13:30 ~ 15:30

講義（途中休憩有り）

講義終了後、グループごとに各教室へ移動

15:45 ~ 16:30

グループミーティング

※上記時間枠外にて、各担当別の委員会などが
随時開催されます。

●受講生のグループ編成による自主・自立的活動

原則 10 名の受講生と 2 名の企画委員（※1）でグループが編成されます。

全体学習以外は、各グループ単位で自主・自立的に活動していただきます。

●グループ内の主な役割

開講式当日のグループミーティングで、全員が下記の何らかの役割を、相談しながら担当していただきます。

- ・グループリーダー グループのまとめ役、連絡会議（※2）に参加
- ・サブリーダー グループリーダーの補佐役、連絡会議に参加
- ・編集担当 『ところざわ市民大学通信』（※3）に関わるグループ内取りまとめ（主に担当企画委員と受講生との間の橋渡し）
- ・移動学習担当 「移動学習」（※4）の企画・運営（担当企画委員がサポート）
- ・課外授業担当 「課外授業」（※5）の企画・運営（担当企画委員がサポート）
- ・レクリエーション担当 「自由企画」（※6）や、「修了パーティー」（※7）の企画・運営（担当企画委員がサポート）

※1：受講生をサポートする 30 期修了生の有志メンバーです。

※2：大学事務局、全企画委員、各グループ代表で月 1 回集まり、情報交換をする場です。

※3：毎月（8 月を除く）発行される A 4 折り込みタイプの市民大学関係者向け機関紙です。

※4：全受講生向けの社会見学プログラムです。（12 月 2 日予定）

※5：受講生自らアイデアを出して作っていくプログラムです。

※6：各グループ単位で自由に行う社会見学プログラムです。（7 月 8 日予定）

※7：1 年次修了をお互いにねぎらうパーティーです。（来年 2 月 3 日予定）



《1年次講座プログラム・日程表》

日程／講座・講師	テーマ・学習内容
2025年6月3日(火) 開講式 オリエンテーション	開講式（学長：所沢市教育委員会教育長） オリエンテーションでは、グループ活動と役割など今後の活動について説明します。その後各グループにわかれてグループ単位を基本に活動します。
6月10日(火) 所沢の歴史と文化 渡辺 隆喜 (明治大学名誉教授)	「所沢維新史の諸課題」 所沢地域における維新史の特色を考えます。 ペリー来航から明治10年の西南戦争までを維新时期と考え、この間の地域的特色を検討します。
6月17日(火) 心の処方箋 ～心理学の活用～ 向後 千春 (早稲田大学人間科学学術院教授)	「よりよい人間関係の築き方や、自分が抱えている問題との向き合い方を学習する」 人生の後半を迎え、家族、友人、職場等との「心理的つながり」、「居場所」が変化します。それらの変化に応じた「心の整理」のよりどころや、生きがいのある幸せな人生を達成するヒントを、アドラー心理学から学びましょう。
6月24日(火) 7月1日(火) 日本の芸能(能楽) (2年次対象科目) 松本 雍 (能楽研究家)	1日目 「日本の芸能の流れ」 2日目 「能・狂言の楽しみ方」 本講座では、能楽（能と狂言を総称した日本の伝統芸能）について学びます。現代にも伝わる「初心忘るべからず」という言葉は、室町時代の能楽師世阿弥が残したものです。世阿弥は「能の大成者」とも呼ばれる人物です。能楽がどのような時代の流れの中で誕生したのか、更に能楽の魅力、知識ゼロからの楽しみ方などをお話して皆さんを能楽の世界へ誘います。
7月8日(火) 自由企画	各グループで自由に立てた計画をもとに活動し、親睦を深めます。
7月15日(火) 7月22日(火) 地域の自然 (2年次対象科目) 永石 文明 (立教大学兼任講師)	「所沢の生物多様性」 1日目 「都市の生物多様性・航空記念公園と都市近郊緑地」 2日目 「里山の生物多様性・狭山丘陵と砂川堀流域」 所沢での暮らしの中で、市民は水や食糧、気候、知識、癒し、文化など、さまざまな生態系の恵みを享受しつつ影響も与えています。生物多様性が生み出す生態系の恵みと人との相互作用を学び、所沢における生態系の恵みの保全の在り様とともに、鳥や山野草の観察の楽しみ方など、生物多様性の活用についても具体的に解説します。
9月2日(火) 所沢地域史① (2年次対象科目) 小野 一之 (大東文化大学・中央大学・桜美林大学 非常勤講師)	「律令国家の誕生から鎌倉街道の合戦まで」 ～古代・中世編～ 武蔵国入間郡に含まれていた所沢市域の古代から中世にかけての歴史について、文献史料・文学作品・考古資料・伝説などのさまざまな資料から検討し地域の歴史文化の特徴を考えていきます。

《1年次講座プログラム・日程表》

日程／講座・講師	テーマ・学習内容
9月9日(火) 9月16日(火) 地方自治 (2年次対象科目) 廣瀬 克哉 (法政大学総長)	1日目 「所沢のいま」から、改めて地方自治を考える」 2日目 「所沢のこれから」のための政策課題について考える」 所沢市は東京の近郊都市として発展して来ましたが、少子高齢化による人口減少や公共施設の老朽化改修などの局面に差し掛かっています。後期高齢者の急増も目前です。このような環境下で、郊外都市所沢が元気な街であり続けるための条件を学び、市民に何が出来るかを考える機会につなげます。
9月30日(火) 10月7日(火) 健康スポーツ (2年次対象科目) 樋口 満 (早稲田大学名誉教授)	「動楽と食楽で健康長寿」 1日目 「老化プロセスと健康・体力」 2日目 「健康寿命を伸ばすライフスタイル」 ミドル～シニア・エイジにとって、健康・体力の保持はQOL (Quality of Life; 生活の質) を高め、生きがいのある生活を送るための基盤です。仲間とともに楽しく行うことが健康・体力づくり継続の秘訣です。健康・体力づくりの2本柱は運動と食事であり、私はそれを“動楽と食楽”と言っています。本講座では、健康長寿の基盤である“動楽と食楽”について学習します。
10月14日(火) 特別講座 所沢市の財政 (所沢市財政課職員・予定)	「市の財政の現状について」 所沢市の財政について、分かりやすくお伝えいたします。 財政に詳しい方も、普段あまりなじみのない方も、この機会に、所沢市の財政について、新しい発見をしていただき、興味をもっていただけたら幸いです。
10月21日(火) 10月28日(火) 脳の科学 (2年次対象科目) 阿部 和穂 (武蔵野大学薬学部教授)	「自分の脳を理解し、衰えを防ぐ方法を見つけよう」 1日目 「脳科学の歴史、ヒトの脳の特徴」 2日目 「認知症の原因・治療・予防」 普段私達は自分の頭の中にある脳がどんな働きをしているか意識することは少ないのですが、認知症等を考えた時、脳の働き、そしてそれを衰えさせないためにはどうすればよいかを知りたくなるに違いありません。 本講座ではその手助けとなる情報を提供します。
11月4日(火) 11月11日(火) 音楽 (2年次対象科目) 笠松 泰洋 (作曲家・演奏家)	「オペラの発生と西洋音楽の発達～音楽に内蔵された物語性～」 1日目 「オペラはどのように生まれたか」 2日目 「オペラは西洋音楽にどのような変化を与えたか」 西洋音楽の中で、オペラの果たした役割はとても大きく、実は現在の西洋音楽の隆盛はオペラが生まれたことに起因すると言っても過言ではありません。それを知ることは、西洋音楽のより深い理解につながります。また、西洋音楽そのものがどうやって成立したか、それは世界の中の様々な音楽に対して、どのように影響を与えたかについても触れていきます。

《1年次講座プログラム・日程表》

日程／講座・講師	テーマ・学習内容
11月18日(火) 所沢地域史② (2年次対象科目) 工藤 宏 (入間市文化財保護委員、 日本茶インストラクター 協会認定委員(茶の歴史))	「日本人とお茶」 日本人とお茶の始まりは、すべて中国から学び、永い歳月をかけて日本の社会へと受容されてきました。日本の風土へ定着したお茶は、日本人の嗜好や感性によって変容を遂げていき、独自の茶の世界を形成してきました。本講座では、日本人好みへと変化していくお茶の歴史や現在日本茶のメインとなっている蒸し製煎茶の誕生が社会や文化に与えた影響について学習します。
11月25日(火) 食の安全 高橋 久仁子 (群馬大学名誉教授)	「健康関連食情報を考える～要注意!!フードファディズム」 食物や栄養が健康や病気に与える影響を過大に評価・信奉することをフードファディズムと言います。マスメディアからの健康関連食情報や食品類の宣伝広告にはこれがたくさん紛れ込み、食生活を時に混乱させます。事例を基にフードファディズムについて考えましょう。
12月2日(火) 移動学習	社会見学を通して、学びと受講生同士の親睦を深めます。(自由参加)
12月9日(火) しづの源氏語り 友家 しづ (元 私立中高専任教諭・ 非常勤講師)	「光源氏唯一の姫君を産んだ明石の君に見る、平安時代の親子関係」 「源氏物語」 は、恋と栄華の物語と捉えられがちですが、原文には四季の情趣や、それに関連する登場人物の心情が語られています。また、親子関係をテーマにいくつもの物語があり、現代人に共感をもたれています。 この二つのテーマにかなった「明石の君」を取り上げます。
12月16日(火) 美術 斎藤 陽一 (美術ジャーナリスト)	「シャガール ～ユダヤ人画家が見つけた故郷～」 ロシアでのユダヤ人地区に生まれたシャガールは、祖国を追われパリに移住した後、ナチスドイツに追われアメリカに亡命。第2次大戦後にフランスに戻り死去します。激動する時代の波に翻弄され、各地を転々とした彼が見つけた故郷とは。パレスチナ紛争激化の中、ユダヤ問題に世界の関心が集まる中、20世紀を代表する一人のユダヤ人画家の生き方と画業を浮き彫りにします。
2026年1月13日(火) 特別講座 所沢市の福祉 (所沢市高齢者支援課 職員、所沢市社会福祉 協議会職員)	「所沢市の高齢者福祉」 人と人との絆により支え合い自立した生活を送るために、所沢市にお住まいの高齢者とそのご家族が、住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるように、所沢市の高齢者事業についてご紹介します。 「福祉の視点から見た地域デビュー」 地域で何か人の役に立つことはできないか。でもどうやって…?本講座では、その切り口として、福祉の視点から考えていきます。所沢市社会福祉協議会とは何か、その取り組みを解説し、地域活動を始めるヒントをつかみます。
1月20日(火) 現代の環境問題 を考える 北野 大 (秋草学園理事長)	「環境問題入門」 我が国では環境問題は公害という形で顕在化しました。この講座では公害の歴史、現在の国内環境問題、また地球規模の温暖化問題について述べます。さらには最近多くの人の関心の的であるマイクロプラスチック問題にも触れます。最後にこれらの新たな環境問題に対処するためのライフスタイルの在り方について受講生と議論したいと思います。

《1年次講座プログラム・日程表》

日程／講座・講師	テーマ・学習内容
1月27日(火) 地元企業の経営学 吉村 英二 (野老社中株式会社 代表取締役)	「地域内経済環境の形成による商品開発 ～所沢初のコミュニティビール」 所沢市が経済的に東京に依存し過ぎているという問題意識から、所沢の麦文化を新たにビールとして蘇らせるべく、「地産地消」に徹底的にこだわり、原材料生産から消費までが地域内で完結する「地域内経済循環」を形成する地ビール作りについて話をします。
畑中 紀人 (株式会社畑中 代表取締役)	「発想の転換“食品サンプル”から“アクセサリー”へ」 (株)畑中は食品サンプルを初めてアクセサリーとして商品化し世界中から評価されています。その背景には激化する価格競争による収益悪化の打開策として、販売対象先をBtoBからBtoCへと変更し、前例がないものを作り続けるマーケティング戦略を紹介します。

※この他にも、受講生自らが考えて主催する「課外授業」（自由参加）や、1・2年次修了時のパーティーなどの企画も予定しています。

《2年次講座プログラム》

以下の7つの講座（グループ）の中から1つを選択して、グループごとに学習を進めます。

講座（グループ）	講師・学習内容
日本の芸能	松本雍：能や狂言など古典芸能鑑賞（DVD/能楽堂）、関連資料・書物等の学習
音楽	笠松泰洋：現代の身近な楽器を使って「雅楽風」の演奏を実践
脳の科学	阿部和穂：学術論文や書籍による学習、グループ討議、科学的根拠に基づいた学び
健康スポーツ	樋口満：「動楽と食楽で健康長寿」について、皆で考え、実践・検討していきます
地域の自然	永石文明：フィールドワーク、自然観察、グループ討議等
地方自治	廣瀬克哉：フィールドワーク、行政機関等への取材、グループ討議等
所沢地域史	小野一之、工藤宏：フィールドワーク、歴史散策、グループ討議等

※学習内容は、講師のアドバイスを得ながら受講生が具体的なテーマを決めていきます。

活動の成果	発表方法
グループ学習発表会	10月に各グループで学習の成果をまとめ、所沢まちづくりセンターホール（予定）で発表します。
学びの記録	2年間の学習成果を冊子「学びの記録」にまとめます。



★2年次に関する詳しい説明は、1年次の後半に行います。

2年次

グループ学習

7講座《日本の芸能・音楽・脳の科学・健康スポーツ・地域の自然・地方自治・所沢地域史》の中から1つを選択し、グループ全員で講師のアドバイスを得ながら学習します。

グループ学習発表

グループで学習の成果を所沢まちづくりセンターホール(予定)で発表し、冊子「学びの記録」にまとめます。

受講生の感想

「個性的で素晴らしい人たちと出会うことができました。皆さんに支えていただき、「一緒に学ぶ」ことの喜びを感じています」(Kさん・女性)

「パソコンが使えないので不安でしたが、仲間のおかげで全く問題ありませんでした。充実した貴重な経験ができました」(Mさん・女性)

「ここで出会った方々との今後も続くであろう交流が楽しみです」

(Aさん・男性)

「様々な学びや活動を通して、知らぬ間に”所沢ファン”になっていた自分に驚いています」(Oさん・男性)



●「グループ学習」グループ別による自主・自立的活動

基本的には受講生を中心に学習していきますが、全6回講師の指導日があります。

講座ごとに学習の進め方は違います。前半の主な活動は、積極的にフィールドワークに出かけることもあれば、受講生で集まっての座学や議論を行ったりします。時には市内外を散策したり、色々な人に話を聴きに行ったり、身体を動かしたりと様々です。

●グループ内の主な役割

- ・グループリーダー、サブリーダー、編集担当 1年次と同じ
- ・レクリエーション担当 . . . 「修了パーティー」の企画・運営(担当企画委員がサポート)
- ・グループワーク発表会担当 . . . 10月に行われるグループワーク発表会の企画・運営
- ・学びの記録作成担当 『学びの記録』の作成

●「グループ学習発表」活動の成果

後半はそれまでの活動の成果をまとめ、『グループワーク発表会』の準備をしていきます。また、32期での学習のまとめとして『学びの記録』を作成します。

☆活動の一例

フィールドワーク



グループ討議



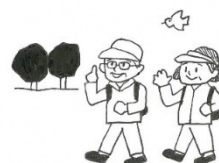
取材



発表会



学びの記録



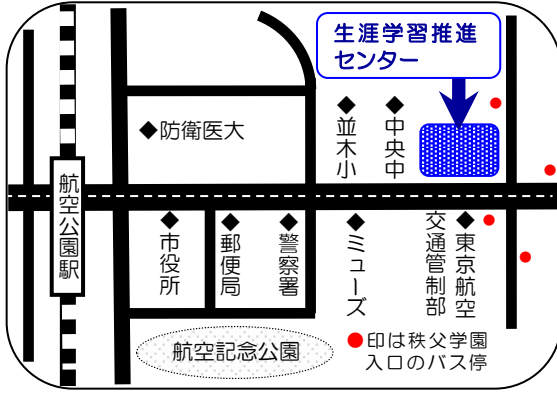
約1年半の活動は
きっと皆さんの
今後の宝になります。
ぜひ、積極的に
ご参加下さい!

募集要項

【期間】 1年次 2025年6月（開講式は6月3日）から2026年1月
2年次 2026年2月から10月

【曜日・時間】 原則として火曜日 午後1時30分から午後4時30分
* 講座の日程は変更となる場合があります。

【主な会場】 所沢市生涯学習推進センター



- 住所 所沢市並木6-4-1
- 交通 西武新宿線「航空公園駅」東口から
 - ・徒歩約17分（1.3km）
 - ・西武バス約5分
 いずれもバス停『秩父学園入口』下車
 「並木通り団地」行き → 徒歩3分
 「新所沢駅東口」行き → 徒歩7分
 「エステシティ所沢」行き → 徒歩7分
 「所沢駅東口」行き → 徒歩7分
 ・地図内 ●印は秩父学園入口のバス停

【募集人数】 70人 * 応募者多数の場合は、公開抽選を行います。

抽選日時：2025年4月22日（火）午前10時～ 会場：所沢市生涯学習推進センター

【対象】 市内在住（在勤・在学も可）でかつ2年次まで受講可能な方

* 特定の単独講座のみの受講や、1年次のみ受講の応募はできません。

【費用】 1年次 7,000円（受講料5,000円+運営費2,000円）

2年次 7,500円（受講料5,000円+運営費2,500円）

* その他に、交通費等の実費負担があります。

【応募方法】 往復はがき 又は 電子申請（所沢市HP内、又は下記2次元バーコード）にて
所沢市生涯学習推進センターへご応募ください。

※往復ハガキの記入例（お一人1枚のみ）

往信<外側> 返信の裏面となる右側は 返信<内側> 右側は往信の裏面↓

記入なし白紙のまま↓

（中央で谷折りにしてください。）

往	359-0042		返	〒	
	生涯学習推進センター 市民大学担当 行	所沢市並木六-四-一		受講希望者の氏名 様	受講希望者の住所
				⑥ 性別	⑤ 年齢
				④ 電話番号	③ 氏名（ふりがな）
				② 住所	① 市民大学

※電子申請
2次元バーコード



【応募締切日】 2025年4月16日（水） 必着

【問合せ先】 所沢市生涯学習推進センター ☎04-2991-0303

（祝日を除く午前9時～午後5時15分）